

事業所名

ことりの・もりのね・にじいろ

支援プログラム

作成日

R7

年

1

月

15

日

法人（事業所）理念		お子様のこころを最優先に 心をこめた支援を理念として					
支援方針		未就学期の発達障害児を対象に、日常生活動作、創作文化活動、遊びを通して生活の質の向上に必要な力、集団の中で活動していく力を身につけることを中心に療育を実施します。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり(片道15分以内)
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活のリズムの形成として睡眠時間や排泄、食事等基本的な生活の状況を把握し、取り組むべき事について一緒に取り組んでいきます。入室後は検温を行い家庭や園での体調も聞き取りしています。基本的生活のスキルの獲得として身辺整理・着替え・排泄など身の回りの事が出来るよう体の使い方や発達の段階に合わせた支援をおこないます。支援例…手洗い・着替え・排泄・荷物の整理、管理・検温等					
	運動・感覚	動きのある活動としてサーキット遊び・ボール遊び・かけっこ・マット運動・リズム遊び等を通して体の使い方や力加減などを学んでいきます。机上での活動にはそれぞれの利用児に合った椅子や机を調整や座る場所を考え集中できる環境も設定していきます。感覚遊びとして小麦粉や片栗粉粘土・スライム遊び、水遊び・色遊び計画し必要に応じて「SP感覚プロファイル」等を使い感覚の特性に応じた支援を行います。					
	認知・行動	日付や曜日等毎日の活動の中で数字への興味や曜日への興味、送迎車の中ではしりとりや物の名前あてクイズ、園での出来事や家庭での出来事を聞き取り色々な言葉を引き出しながら概念の形成の機会を作ります。パズルや絵合わせカード・絵本を使い発達の段階に応じて個々に習得できるよう様々な教材を使い、日常生活の中でイメージが広がるよう工夫していきます。					
	言語 コミュニケーション	自分の思いや考えを周りに伝える「話す」相手の思いや考えを「聞く」という言葉の様々なコミュニケーションを学びます。自分の思いや考えをジェスチャーや表情、行動で表出し、次に周りに伝わる言葉やジェスチャーで伝わる喜びを支援者と一緒に経験していきます。小さな変化や表出にも気付いて気持ちの代弁や適切な言葉の見本を示し、気持ちを共感出来るよう丁寧な見守りや支援がある中で伝わる喜びや楽しさを学んでいきます。					
	人間関係 社会性	小集団や1対1の個別の支援の中で、まずは支援者との信頼関係を作り、お友達への関わりに広がるよう丁寧に見守り、気持ちの代弁や相手の気持ちを分かりやすく伝え他児とのやり取りの楽しさの経験を積んでいきます。色々な遊びを楽しむ中で順番や役割り、ルール、感情のコントロール(思い通りにいかない事や気持ちを切り替える方法)等必要なスキルが身に着くよう支援します。公共施設(公園・図書館・科学館・県庁・神社等)、町探検等人との関わりや活動を通して社会性を身につけ実践的に体験していきます。					
家族支援		年に3回土曜開所日に心理士の先生による勉強会の実施(療育とは・今後の支援や専門機関について・上手なほめ方や叱り方・関わり・卒園児の保護者に体験談や懇親会)・保護者親睦会も年に2回～必要に応じて土曜開所時に実施。			移行支援	利用開始前後に保育園、幼稚園と面談を行い園の様子の見学や園での現状について情報を共有していきます。就学先には移行支援シートを作成しお子さんの情報を伝えて連携を図ります。	
地域支援・地域連携		園とは送迎時や面談にて情報を共有していきます。			職員の質の向上	職員の研修は新人研修・中堅研修・主任・児発管研修と年数や役職に応じた心理士の先生による研修(メンタルヘルス研修・発達障害についての基礎知識・子供の学びとサポートの様々な場所と形等)また外部の虐待防止に向けた研修への参加。	
主な行事等		通常活動内の行事(初詣・節分・ひな祭り・こいのぼり製作・プール遊び・ハロウィンごっこ・クリスマス会・遠足等) 親子(兄弟児・祖父母等も参加可)行事(水族館・石橋記念公園水遊び・夏祭り・クリスマス会・貸切電車)					